

# 令和4年大口町教育委員会9月定例会議

令和4年 9月28日

午前 9時30分 開 議

大口町中央公民館 2階 C会議室

## 議事日程

日程第1 教育長報告

日程第2 議事録署名者の指名

日程第3 職務代理者の指名について

日程第4 連絡・報告事項

- (1) 全国学力・学習状況調査結果の報告について
- (2) 大口町教育委員会後援名義の使用許可の報告について
- (3) 令和4年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について

日程第5 その他

## 出席者

教 育 長	長 屋 孝 成	教育長職務代理者	水 谷 恵 子
委 員	丹 羽 茂 文	委 員	鈴 村 由 布 子

## 欠席者

委 員	舟 橋 由 治
-----	---------

説明のため出席した者

生涯教育部長兼  
町史編さん室長兼  
生涯学習課長

社 本 寛

学校教育課長 松 井 宏 之

学校教育課主幹兼  
派遣指導主事

江 口 孝一郎

学校教育課長  
補佐兼指導主事

實 松 大 祐

学校教育課長補佐

三 輪 典 幸

学校給食センター  
主幹兼所長

丹 羽 清 人

図書館主幹兼  
図書館長

鈴 木 加代子

町史編さん室主幹

木 浪 浩 行

## ◎開会

○社本生涯教育部長兼町史編さん室長兼生涯学習課長 それでは定刻になりましたので、ただいまから教育委員会の定例会を始めます。

本日の出席委員は3名です。定足数に達していますので、これより令和4年大口町教育委員会9月定例会を始めます。

なお、傍聴人はございません。

(午前 9時30分)

---

## ◎日程第1 教育長報告

○社本生涯教育部長兼町史編さん室長兼生涯学習課長 日程第1、教育長報告をお願いします。

○長屋教育長 それでは改めまして、おはようございます。

9月1日には、本当にまだ残暑厳しい折でしたけれども、第2学期の始業式、そして給食開始ということで始まってきましたが、今日までのところ、日本列島、南西諸島を多くの台風が襲いました。とりわけ台風14号については、伊勢湾台風匹敵する、それ以上というような猛烈な勢力の大型台風だったということでひやひやしていました。給食の件については、本当に適切な判断が、センター長の力が大きかったと思うんですけども、実施することができました。

なお、私の家には、孫が何人かいますが、給食なしということでしたので、本当に大変でした。大口ええなあ、大口ええなあという、そんな声が家の中から聞こえて、ちょっと鼻が高かったです。そういうことでしたけれども、台風と共に秋が徐々に深まってきて、本当に過ごしやすい、いい天気になったなということを思っております。

まず一つ、9月といいますと敬老行事がありまして、大口町でも9月16日だったかな、敬老事業が行われ、私も参加をさせていただきました。大口町では17名の99歳以上の高齢者にお祝い金と、それから社会福祉協議会からのお土産をお渡しするという会でありまして、104歳、102歳、100歳の方を訪問しました。そして、一様に皆さん待っていただき、そして長生きの秘訣をお聞きすると、一つは3度の食事をちゃんと取るということと、それからもう一つはなるべく自分でできることは自分でやるようにしているという話を聞き、羨ましいなど、まさに人生100年時代というのはこうなっていくのかなという思いで参加をすることができました。それから日本全体で見ても、52年連続で高齢者が増えており、特に100歳以上については9万人を超えたということでもありますので、本当に長寿化が進展しているなということを思いました。

それから2つ目ですが、9月に入って、県教委の特別支援教育課の方がお見えになりました。その中で、尾張地方の特別支援教育のまず特別支援学校の在り方についてですけれども、ここ

ら辺の子は一宮東へ行くわけですが、現時点で教室が13教室不足しているような状況だということで、その教室不足への対応ということで、犬山とか小牧、それから大口、扶桑の小・中・高等学校の児童・生徒は、これからは小牧特別支援学校に移行をしていくと。そして、小牧は、知的障害と肢体不自由の併設校にすると。これは令和8年度開校予定ということで準備を進めているという話がありましたので、こういう方向で今後進んでいくんだろうなということをお思います。

それから、現在9月議会が開かれている最中でありまして、昨日ちょうど終わったところがあります。令和3年度の一般会計とか特別会計の決算の認定、それから今年度の補正予算等、大変重要な案件が審議されました。

実は、こういう地方議会についてですけれども、子供たちはどういうふうに学んでいるのかということですが、地方自治こそが本当に最も暮らしに身近な民主政治の場であり、民主主義の学校ということをよく言われております。今年度、ちょうど委員さんのお手元に昨日の中日新聞の記事を配付させていただきましたけれども、社会科で、とりわけ3年生では公民的分野の学習をするわけですが、この分野で私たちの生活と地方自治という單元の中で、地域の政治がどのように行われているのか、また地方自治体はどんな仕事をしているのか、そういうことを学ぶことになっております。

この記事ですが、私も参加をさせてもらったわけですが、中学生たち、タブレットを大いに活用して、そしてグループごとにまとめて、大口の町をよくしていくためにはどんなことをやったらいいかという中学生視点で発表し、そしてそれを町長を呼びまして町長に聞いてもらって、町長からの意見といますかコメントをもらうという、そんな意見交換の場を持つ授業でありまして、まさに学びそのものが従来から変わっていく、学びの方法、学びの仕方等が変わりつつあるなということで、大変大きな意義があるなという思いで学校を後にすることができました。

報告につきましては以上でございます。

○社本生涯教育部長兼町史編さん室長兼生涯学習課長 ありがとうございます。

それでは、日程第2以降に移ります。

教育長、お願いします。

---

## ◎日程第2 議事録署名者の指名

○長屋教育長 それでは、日程第2、議事録署名者の指名を行います。

議事録署名者には、水谷恵子教育長職務代理者と鈴木由布子委員を指名しますので、よろしくをお願いします。

---

### ◎日程第3 職務代理者の指名について

○長屋教育長 続きまして、日程第3、職務代理者の指名についてです。

水谷委員の任期が9月末で一旦任期満了となりますが、引き続きお願いをしましたところ、快くお引受けくださいますので本当にありがとうございます。

10月1日からの職務代理者につきましては、大口町教育委員会の会議規則第3条において、委員の中から教育長が指名するとありますので、職務代理者の指名をさせていただきます。

水谷恵子委員、お願いします。

○水谷委員 よろしくお願いします。

○長屋教育長 任期につきましては、会議規則の第3条第2項により1年となっておりますので、よろしくお願いします。

また、会議規則第3条第3項におきまして、職務代理者に事故があったとき、または欠けたとき、委員のうちの最年長者が臨時に教育長の職務を行うという定めになっていますので、このような際には、一番年長者ということで鈴木由布子委員にお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

それでは、水谷委員、何か一言述べていただけるとありがたいです。

○水谷委員 昨年同様の挨拶をする際に、私の出番がございませんように、教育長先生におかれましては御自愛をいただき、お過ごしくださいと挨拶をしましたが、教職員の皆さんの研修会の冒頭で挨拶をさせていただくという出番があり、勉強をさせていただく機会がございました。今回も、教育長先生におかれましては、無事に車の免許更新をされた上、私の出番のないようにとお伝えしたいのですが、不都合が生じる場合は快くお引受けをし、勉強させていただこうと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

○長屋教育長 ありがとうございます。

---

### ◎日程第4 連絡・報告事項

○長屋教育長 続きまして、日程第4、連絡・報告事項に入ります。

1点目、全国学力・学習状況調査結果の報告につきまして、事務局、お願いします。

○江口学校教育課主幹兼派遣指導主事 よろしくお願ひいたします。

お配りしました資料、2022年8月26日版の令和4年度全国学力・学習状況調査結果の資料を御覧ください。

初めに、表の見方について説明をいたします。

1ページは、小学校の平均正答率を示した一覧となります。

一番上に今年度、令和4年度の結果、2段目に令和3年度、3段目に令和2年度というように記載をしてあります。

なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大による全国的な臨時休業のため未実施でしたので、結果はありません。

表の中で赤いところは、全国平均よりも2ポイント高いことを示し、青いところは2ポイント低いことを示しております。3小学校と、それを総合した大口町、愛知県、全国を比較して見られるようになっていきます。

調査科目については、本年度は国語、算数、理科について実施されました。

2ページを御覧ください。

2ページは中学校の結果になります。1ページと同様に上から本年度、令和3年度と順に遡って記載をしています。

一番下の表は、参考資料として今年の中学3年生が小学6年生のときの調査結果と比較したものを載せてあります。

調査項目については小学校と同様で、国語、数学、理科について実施されました。

3ページを御覧ください。

3ページは、小学校の得点分布の状況として、令和3年度と令和4年度のグラフが載せてあります。横軸は正答数、縦軸はその正答数における割合を示しています。棒グラフが大口町の状況、実線の折れ線グラフが全国、点線の折れ線グラフが愛知県の分布です。真ん中より左側が昨年の令和3年度、右側が本年度の令和4年度のグラフとなります。

4ページを御覧ください。

4ページは、中学校の得点分布状況のグラフとなります。3年度の小学校と同様、真ん中より左側が令和3年度、右側が本年度のグラフです。

まず、得点結果からの考察です。

5ページと1、2ページを比較しながらお聞きください。

1ページ、小学校を見ていただきますと、国語、算数、理科ともに全国平均と同程度の結果でありました。

2ページ、中学校を見ていただくと、国語は全国平均をやや上回る結果でありました。数学、理科は全国平均を上回る結果でありました。

本年度の中学3年生が小学6年生だったときの調査結果、平成31年、令和元年度は理科が実施されていませんでしたが、小学校時が全国平均と同程度かやや上回る結果であったのに対し、今回は国語はやや上回る結果、数学、理科は全国平均を上回る結果であったと捉えられます。

次に、得点分布状況からの考察です。

5ページと3、4ページを比較しながらお聞きください。

3ページ、小学校の本年度のグラフを見ていただくと、国語は上位層の割合が全国よりやや多く、下位層の割合がやや多く、二極化の傾向が見られます。算数は分布のばらつきが大きいですが、全国の分布と比べて、全体的に下位層より偏っている傾向と捉えられます。理科は分布のばらつきが大きいですが、二極化の傾向が見られ、全体的に下位層より偏っている傾向と捉えられます。

4ページ、中学校の本年度のグラフを見ていただくと、国語は上位層の割合が大きく、全国の分布と比べて、全体的に上位層より偏っていると捉えられます。数学は上位層、中間層の割合が大きく、全国の分布と比べて、全体的に上位層より偏っている傾向が捉えられます。理科は二極化の傾向が見られますが、上位層の割合が大きく、全国の分布と比べて、全体的に上位層より偏っている傾向が捉えられます。

今回の結果とその分析を踏まえつつ、各学校において今後の対策について検討が必要と思いますが、二極化の傾向が全体的に見受けられるため、下位層を少し引き上げる手だてを継続的に講じるように促したいと考えます。

続いて、令和4年度全国学力・学習状況調査結果を受けての資料を御覧ください。

まず、今後の取組の方向性について説明します。

大口町では、大口学びスタイル、大口町家庭学習のスタンダード、家庭での子育て10か条を学力向上対策の指針として、授業改善や家庭への呼びかけを行ってきています。その効果を分析し、今後の取組に生かしていくことが重要だと考えます。今回の全国学力・学習状況調査の結果を分析すると、これまで注力してきた大口学びスタイル、大口町家庭学習のスタンダード、家庭での子育て10か条の理念に基づいた取組が実践されている状況がうかがえます。今後も以下の点に留意しつつ、継続や改善を図る必要があると思われます。家庭生活に関しては、望ましい生活習慣・生活環境と家庭での学習時間の確保と過ごし方です。学校生活に関しては、学習環境づくりと授業改善です。

詳細については2ページ以降となります。

2ページを御覧ください。

家庭生活に関する①望ましい生活習慣・生活環境について説明します。

早寝、早起き、朝御飯と言われるように、食事や睡眠など規則正しい生活習慣は心身の健やかな成長や学習意欲を高めるための根幹です。児童質問紙・生徒質問紙の項目「朝食を毎日食べていますか」に対し、「している」「どちらかといえば、している」の回答は、小学校では約97%、中学校では約94%で、全国値と同程度かやや高い状況にありました。

3ページから4ページを御覧ください。

項目「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」については、「している」「どちらかといえば、している」の回答は、小学校では約79%であるのに対し、中学校では約78%、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」については、小学校では約89%、中学校では約88%という結果でした。全国値と比べると、小学校はともに同程度でしたが、中学校は就寝が同程度、起床はやや低い状況でした。

4 ページから 5 ページを御覧ください。

「自分には、よいところがあると思いますか」の質問項目に対しては、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の回答が、小学校では全国値と同程度、中学校では高い傾向を示しています。データ分析では、これらの項目に対して肯定的な回答の児童・生徒は、問題への正答率が高い傾向にありました。家庭での保護者の働きかけは、子供たちの自信、意欲、自制心や忍耐力などに大きく影響を与えます。家庭での温かなコミュニケーション、言葉かけを今後も大切にしていきたいと思えます。

5 ページから 7 ページを御覧ください。

「新聞を読んでいますか」「読書は好きですか」の質問項目についても、肯定的な回答が高い児童・生徒ほど問題への正答率が高い傾向にあります。小学校では、新聞を読む割合が全国値より高い傾向が見られましたが、大口町の子供たちは読書の習慣が全体的にやや低い傾向にあります。

8 ページを御覧ください。

今回「あなたの家には、およそどれくらい本がありますか」の質問項目がありましたが、家庭の蔵書数は、小学校、中学校ともに全国値と比べ多い様子が見られました。本に囲まれた環境と正答率には関係性が見受けられました。学校だけでなく、家庭においても本に親しむ環境づくりが子供たちにより影響を与えられと考えられます。

9 ページを御覧ください。

家庭生活に関する②家庭での学習時間の確保と過ごし方について説明します。

基礎的、基本的な内容の習得には、授業における指導と同時に、家庭学習の充実が不可欠です。「学校の授業時間以外に、ふだん1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の質問項目について、以下のような結果でした。

目安の学習時間は、小学校で学年掛ける10分以上（1年生は20分程度）、中学校では2時間以上と設定をしています。小学校6年生では1時間、中学3年生では2時間以上が目安の学習時間となりますが、今回それを満たしているのは、小学校で6割強、中学校では3割強であることが分かりました。

10ページ、11ページを御覧ください。



「ふだん、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか」「ふだん、1日当たりどれくらいの時間、SNSや動画視聴をしますか」の質問項目については、全国値に比べて同程度かやや短い傾向が見られました。しかし、相対的に利用時間、視聴時間が長時間になっている児童・生徒の割合が高いと捉えられます。

12ページを御覧ください。

「携帯電話、スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束をしたことを守っていますか」の質問項目については、「きちんと守っている」「大体守っている」の割合は、小学校、中学校ともに全国値よりも低い傾向にありました。

これらの状況から、家庭での過ごし方、時間の使い方について見詰め直し、自分で計画を立てて、家庭でも充実した学習に取り組めるように促していく必要性を感じます。家庭での約束事について話し合い、主体的に毎日の学習に取り組む習慣の定着をさらに図っていくことが重要であると考えます。

次に、学校生活に関する①学習環境づくりについて説明します。

個々の学びが仲間との対話によって深い理解へつながるようにするためには、学びに向かう力を支える土台がしっかりとしている必要があると考えます。落ち着いて、楽しく過ごせるような雰囲気づくりや人間関係づくりなど、学習環境を整えることが大切です。また、仲間を容れ、お互いの考えを尊重し合う意識の醸成も重要となります。

児童質問紙・生徒質問紙の項目に、「学校に行くのは楽しいと思いますか」「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」などがありますが、全国値と比べて、肯定的な回答の割合が同程度かやや高い傾向にありました。また、中学校では、特に「人が困っているときは、進んで助けていますか」「困り事や不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」などの質問項目で肯定的な回答が全国値よりも高い割合で見られ、他者との良好な関係が顕著にうかがえました。

データ分析を見ると、これらに対して肯定的な回答の児童・生徒のほうが正答率が高い傾向にありました。仲間との対話を通して考えを深めたり、広げたりできる意識や行動や安心して生活できる環境がよい結果に結びつくと思われれます。そういった意識や行動が育まれる学習環境づくりを目指し、今後も継続して改善を図っていくことが大切であると考えます。

学校生活に関する②授業改善について説明します。

18ページから27ページを御覧ください。

一人一人が失敗を恐れずに挑戦したり、最後までやり遂げたりするような経験を積むことや課題解決に向けて主体的に取り組んだり思考を重ねたりし、仲間との対話を通して深い理解に

つながったりする経験を積むことはとても大切です。そういった授業の積み重ねが学びに向かう力を高めることにつながり、学習することの意義について考えたり、学んだことを活用したりすることにもつながっていくと考えます。また、学習のための道具として、GIGAスクール構想によって配付された1人1台端末の有効な活用の仕方を模索していくことも必要です。

児童質問紙・生徒質問紙の項目に、「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」などがありますが、中学校では肯定的な回答の割合が全国値と比べてやや高いか高い傾向にありました。小学校では、「失敗をおそれず挑戦」は全国値より低い傾向にありますが、そのほかは同程度の状況が見られました。

「算数（数学）の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか」「算数（数学）の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか」「算数の授業で公式や決まりを習うとき、その訳を理解するようにしていますか」などの質問項目がありますが、特に中学校で全国値と比べて肯定的な回答の割合がやや高い傾向、もしくは高い傾向にありました。

これらの項目は、データ分析を見ると、肯定的な回答の児童・生徒ほど正答率が高い傾向にありました。学習内容の意味や訳を考えたり、よりよい方法を諦めずに探したりできる意識や姿勢が大切であると捉えられます。

今後も基礎的、基本的な内容の習得とともに、主体的、対話的で深い学びを通じた思考力、判断力、表現力を育む授業、学んだことを活用したり、そのよさを実感したりできる授業を実践していけるよう、改善に努めていく必要があると考えます。

最後に、ICT機器の活用状況について。

「授業でPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか」「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」という質問項目がありましたが、小学校、中学校ともに全国値に比べ、高い割合で活用している状況が把握でき、有効な活用の様子がうかがえました。学習に際し、時、場面に応じて有効に活用できる力とともに、情報リテラシーについても継続的に指導していく必要があると考えています。

説明は以上となります。

○長屋教育長 ありがとうございました。

何か御質問等あれば、お願いします。

○水谷委員 よく何々について肯定的な回答が高い生徒ほど問題の正答率が高い傾向にあります

という言葉があちこちに出てきたんですが、そのデータ分析でそういうことが分かるんですか。この子とこの子というふうに結びつくということですか。

○江口学校教育課主幹兼派遣指導主事 クロス集計という分析がありまして、今の結果でいきますと、こちらの数値のほうと、それからこちらのほうの意識調査のものを重ねて、クロスして分析するというものがありまして、その結果で出てきたものを説明として使わせていただいたということになります。

○水谷委員 じゃあちゃんとその子とその子と結びついているということなんですよ。

○江口学校教育課主幹兼派遣指導主事 そうですね。

○水谷委員 ありがとうございます。

○長屋教育長 よろしいですか。

○鈴木委員 今私たちが受けた報告は、学校のほうにはいつ頃なされたんでしょうか。

○江口学校教育課主幹兼派遣指導主事 校長先生方にはお渡しをしまして、それから教務主任会議がありましたので、その折にも町全体の傾向ですとか、そういったものも伝えて、学校でそれぞれまた分析して対応していくようにということはお願ひしてあります。

○鈴木委員 それぞれというだけではなく、先生方からここにおいてはこの学校はここを頑張っていくましようみたいな特別なアドバイスはありましたか。

○江口学校教育課主幹兼派遣指導主事 それぞれの状況がやはり少しずつ違うというところがありますので、こちらの表を見ていただいても、数字的には各学校で多少ばらつきがありますので、授業の進め方ですとか、子供への指導の仕方などももう一度見直してもらって、改善するところをまた探って進めていっていただきたいというような話をしています。

○鈴木委員 ありがとうございます。

○長屋教育長 よろしいですか。

そのほかいいですか。

(挙手する者なし)

○長屋教育長 では、ないようですので、2点目に入ります。

大口町教育委員会後援名義の使用許可の報告につきまして、事務局、お願いします。

○松井学校教育課長 それでは、資料のほうを御覧ください。

大口町教育委員会後援名義の使用許可の報告についてです。

1番の申請者、名鉄広見線活性化協議会、会長 渡邊公夫。許可年月日は令和4年9月7日。事業名は、沿線謎解きゲーム『暴れん坊の鬼を封じ込めろ!』です。こちらは、昨年から後援依頼があるものでございます。

2番目は、犬山市レクリエーション協会、松山清子。許可日は令和4年9月20日。事業名は、

全国一斉あそびの日キャンペーン2022犬山会場、ウオークラリー大会「ぐるり歴史さんぽ in 羽黒」です。こちらは毎年後援依頼があるものです。

3番目は、私学をよくする愛知父母懇談会江南ブロック、竹下友二。許可年月日は令和4年9月20日。事業名は、私立学校進学相談会。こちらも毎年後援依頼があるものでございます。

4番目は、愛知駅伝実行委員会、実行委員長 稲垣裕。許可日は令和4年9月20日。事業名は、愛知万博メモリアル第15回愛知県市町村対抗駅伝競走大会。こちらも毎年後援依頼があるものでございます。

続きまして、2番目の実績報告です。

1番目は、愛知サマーセミナー実行委員会。許可日は令和4年5月27日。実施日は7月18日と書いてありますが、16日から18日の3日間です。事業名は、第33回愛知サマーセミナー。3日間で延べ2万3,500人の参加があったそうです。

2番目、大口町商工会。許可日は令和4年7月7日。実施日は、こちらも7月29、30の2日間です。事業名は、大口キッズものづくり講座です。当日の参加者は25名で開催をされまして、プログラミングのロボットの作成をされたそうです。

3番目は、大口町まちづくり団体あいうえOguchi。許可年月日は令和4年7月27日。実施日は8月27日です。事業名は、外国につながる子どもの進路ガイダンスです。当日の参加は50名で、岩倉市の日本語適応指導教室の先生をお招きしまして、講座や個別相談を実施されたそうです。

報告については以上です。

○長屋教育長 ありがとうございます。

何かございましたらお願いします。

よろしいですか。

(挙手する者なし)

○長屋教育長 ありがとうございます。

それでは次に、3点目、令和4年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について、説明をお願いします。

○松井学校教育課長 資料のほうを御覧ください。

令和4年度要保護及び準要保護児童生徒の認定についてでございます。

横長の用紙のほうに追加の生徒のお名前が記載されております。大口西小学校で2名追加となりました。

A4縦の資料についてです。

南小学校は準要保護が16名、北小学校が準要保護が40名、西小学校は準要保護が53名で、小

学校合計で準要保護者が109名、大口中学校が要保護者が1名、準要保護が55名で、町全体では要保護1名、準要保護164名、合計で165名となっております。

説明は以上になりますが、名簿につきましては、委員会終了後、事務局のほうに御返却をお願いいたします。説明は以上です。

○長屋教育長 ありがとうございます。

この案件、何かありましたら。

よろしいですか。

(挙手する者なし)

○長屋教育長 ありがとうございます。

---

### ◎日程第5 その他

○長屋教育長 それでは、日程第5、その他に移ります。

その他につきまして、事務局、何かありますか。

○松井学校教育課長 特にございません。

○長屋教育長 委員さんのほうから何かありますか。

よろしいですか。

(挙手する者なし)

○長屋教育長 ないようですので、その他につきまして終わりました。

最後になりましたが、丹羽茂文委員が今月末をもって御退任ということになりました。丹羽委員は、平成13年9月27日から教育委員をお引受けいただきまして、合計21年間、5期と1年ということになりますが、大変長きにわたりまして御尽力をいただきました。本当にありがとうございました。これからもお体には十分御留意をいただき、お過ごしいただきたいと思えます。また、いろんな場面で大口町の教育のために、側面的な御支援をいただければありがたいなということを思います。

長年の御功勞の敬意を表しまして、花束、それから功勞者バッジを贈呈したいと思いますので、よろしく願いいたします。

(花束・功勞者バッジ 贈呈)

○長屋教育長 それでは最後になりますが、丹羽委員、一言。

○丹羽委員 私、季節外れの花粉症になっちゃって、何かお聞き苦しいからごめんなさいね。

本当、今21年もやったんだと初めて21年と知りました。私18年だと思っておったもんですから、21年もやったんだと。

今月私の母親が96歳の誕生日を迎えて、お祝いで2人で飯を、飯をと言ったってそば屋さん

へ天ざるを食いに行っただけですけれども、そのときに今月で任期満了だよとかいう話をしたら、そうしたらおふくろが御苦労さんぐらいは言ってくれるだろうなと思ったら、あんたみたいに小学校6年間、毎年毎年職員室に私が呼び出されて、中学校に行ったら1年2年はこれで収まったかなと思ったら、中学校3年生でまた職員室に呼び出された。あんたみたいな悪がきは早くお役御免になったほうがいいわと言われました。もうちょっと御苦労さんぐらい言えればいいのになと思って、本当に天ざるをやめてざるそばだけにしてやろうかなと思ったんだけど、頼んだ後にそんなことを言われましたので。

でも、最初ここの委員になったときに、私普通の企業にいましたので、変わった業界がやっぱり世の中にあるんだなと思って違和感というのか、うわあすごいなと思っていました。21年もするとだんだん慣れてきまして、確かに本当に教育というのは人づくりですから、そういう意味で物すごく勉強させていただきました。本当に花束よりも何かお返しをしないかんぐらいに勉強させていただきました。本当に長い間ありがとうございました。

○長屋教育長 ありがとうございました。

丹羽茂文委員の後任としては、御承知かと思いますが、現在大屋敷にお住まいの丹羽力也さんをお願いをいたしております。

それでは、事務局のほうへお返しします。

○社本生涯教育部長兼町史編さん室長兼生涯学習課長 教育長、最後に。

○長屋教育長 本当に丹羽茂文さん、まだ元ではありませんので、本当に21年間、長い間でしたけれども、何度も何度もお願いをして、快くお引受けいただいて今回に至ったということであります。ありがとうございました。

思い出せば、いろいろと丹羽委員と対話をした場面が浮かんでくるわけですが、丹羽委員からいろいろと教育委員会の弱点、欠点、問題点等、御指摘いただいたことにつきましては、一遍に解決しないかもしれませんが、肝に銘じてこれからも進んでいきたいなと思っています。本当にありがとうございました。以上です。

○社本生涯教育部長兼町史編さん室長兼生涯学習課長 では、以上をもちまして、9月の大口町教育委員会定例会を終わりたいと思います。

(午前10時16分)

上記会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

委 員

委 員